

パワーアカデミー研究助成 成果報告会開催のご案内

パワーアカデミーでは、電気工学分野の活性化のため、活動の一環として大学・高専の先生方や大学院博士課程学生の方に研究助成を行っております。

これは、電力供給システムの将来、高度なエネルギー利用、経年設備のリフレッシュ・高機能化など様々な視点から、産業界の中長期的な課題を想定し、アピール性が高く魅力的なテーマを設定して、産学共同研究を促進する取り組みです。この度、平成30年電気学会全国大会(九州大学)に併せて成果報告会を開催いたします。一般の方々もご参加いただけますので、ぜひご聴講ください。



エネルギーから未来を創造しよう

日時 2018年3月14日 [水] 10:00 ~ 16:00

場所 九州大学 伊都キャンパス センター1号館1402講義室

内容 ● パワーアカデミー活動の紹介
● 特別推進研究成果発表
● 萌芽研究成果発表

聴講 無料(事前申し込み不要)

主催 パワーアカデミー

連絡先 パワーアカデミー事務局
〒100-8118 東京都千代田区大手町1-3-2経団連会館16F
Tel:03(5221)1450(代表) Fax:03(6361)9030

パワーアカデミーとは

大学や高等専門学校(高専)における電気工学系学科は、研究、教育の両面において、電力業界の事業基盤を支える重要なものです。

現在、我々が直面している地球温暖化問題や、複雑化するエネルギー問題を解決していくためには電気工学の力が必要であり、その技術革新の源である基礎研究や教育の場である電気工学系学科の維持・発展が今後とも不可欠です。

パワーアカデミーは、産学が共通のビジョンのもとに連携し、電気工学分野の研究、教育を全国的に支援するとともに、本分野の魅力や重要性に対する社会の認識を高めるPR活動を展開し、電気工学分野の一層の発展に寄与することを目的としています。

URL: <http://www.power-academy.jp/>



パワーアカデミー

パワーアカデミー研究助成 成果報告会プログラム

時間	講演タイトル及び発表者	研究種別
10:00~	開会挨拶 富岡 義博 (事務局)	
10:05~	パワーアカデミー活動の紹介 梅田 健司 (事務局)	
10:20~	電気自動車への非接触充電およびV2H双方向送電時にインバータ等から漏洩するGHz帯高調波ノイズとその低減に関する研究 佐藤 文博 東北学院大学 田倉 哲也 東北工業大学 松木 英敏 東北大学 西澤 真裕 東北大学	萌芽研究 (チーム型)
11:00~	振動発電における共振を利用した高効率エネルギー回収機構の開発 南 政孝 神戸市立高専	萌芽研究
11:15~	超電導コイルを用いた低周波数領域での高効率・大電力伝送を可能とする非接触電力伝送技術の基礎的検討 宮城 大輔 東北大学	
11:30~	高Q値共振器を実現するための新概念高周波用超電導線材構造の開発とそれを用いたワイヤレス電力伝送の基礎特性の評価 關谷 尚人 山梨大学	
11:45~	人工ナノ粒子導入Y系超伝導線材を用いた縦磁界利用大容量DCケーブルの開発 三浦 正志 成蹊大学 淡路 智 東北大学 木内 勝 九州工業大学	特別推進研究
12:30~	昼 食	
13:30~	超高圧真空遮断器の遅発性超高速放電メカニズムの解明とその抑制に関する研究 金子 英治 琉球大学 山納 康 埼玉大学 稲田 優貴 埼玉大学 岩淵 大行 横浜国立大学	特別推進研究
14:30~	電力設備の余寿命診断のための部分放電の進展過程の解明に関する研究 迫田 達也 宮崎大学	萌芽研究
14:45~	CO ₂ を消弧ガスとした完全自力型ガス遮断器の設計に資するアーク消弧・絶縁回復過程の統合数値解析技術の構築 藤野 貴康 筑波大学	
15:00~	高効率ペロブスカイト太陽電池のための交互積層製膜法の開発 山本 晃平 金沢大学	萌芽研究 (博士)
15:15~	二周波駆動型液晶アクチュエータの開発 金子 光佑 立命館大学	萌芽研究
15:30~	周波数逡倍を利用した超高周波出力を可能とする高周波電源の開発 折川 幸司 北海道大学	
15:45~	高性能電磁界解析手法に基づく高度な電気機器設計法の基盤構築 武居 周 宮崎大学	
16:00	閉 会	